

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	愛宕蔵活用検討事業	会計	一般会計	事業No.	753	施策順No.	62-004
		事業種別	政策・その他	予算科目	0予算事業		
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり			課等名	生涯学習・スポーツ課		
施策	62 地域資源の資産化			事業期間	開始	17	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	愛宕蔵						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		愛宕蔵改修・整備箇所数(ヶ所)	1	1	1	1	1		
	意図	愛宕蔵の活用							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		検討会議の開催		3	3	3	1	3	D
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	蔵のある街並み景観を保全していくため、現在の用途(倉庫)として蔵を維持するために必要な最低限の改修を行っていく。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	愛宕蔵は、県内でも最大規模の酒蔵であり、当地方の酒造産業の象徴的な歴史的建造物である。多くの歴史的建造物が大火で失われた旧市街地において、愛宕坂付近の景観形成に大きな役割を果たしている。そこで、市民の財産として良好な状態で保存し、収蔵スペースとして利用するとともに、市民の文化財に対する理解を深めてもらうため、まちづくりや芸術文化など様々な利用ができる様に活用方法を検討する。		
	当面の活用方法を定め必要な改修工事を行う。 将来的な活用方法については、隣接する蔵を含め一体的なエリアとして捉え活用方法を検討する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	検討会議の開催 利用実態の調査	会議数	1回
23年度実施計画	1 検討会議の開催 将来的な活用方法の検討 2 外観保存のための改修工事 ①修景のための修繕工事(窓取り付け、雨漏り対策) ②電気設備工事(電源設備、火災報知設備) ③給排水設備工事(給排水設備、消火設備)	1 会議数 2 事業費	1 回 2 ① ② ③

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源				
		計(A)	0	0	0	
		正規職員所要時間		40		
		臨時職員等所要時間				
		人件費計(B)		143		
		トータルコスト A+B		143		

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・議会から、「蔵の用途について、方向性を示し、市民に情報公開の必要がある」「中心市街地活性化基本計画の中で利活用検討の必要がある」「NPO等の団体や地域との連携を図り、活用の検討の必要がある」と提言をいただいている。 ・基本構想基本計画推進委員会から、活用方針を早期に検討する旨の提言をいただいている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①地域資源の価値が顕在化し高まる ②市民に認知される	施策の成果指標又はムトス指標	活用できる状態の整った地域資源の数 地域資源を知っている市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	地域の酒造産業の象徴的な歴史的建造物である愛宕蔵を保存活用(検討)するもので、地域資源を顕在化する事業である。		
	後期に向けた課題	愛宕蔵を地域資源として利用していく方法について、長期的な視点で検討を継続していく必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	愛宕蔵活用フィールドワーク検討会議で、咲蔵(さくら)めぐり等のイベント等を開催しながら活用方法を検討してきた。		
	後期に向けた課題	旧市街地の街並み保存と一体に考えることで、魅力ある街並みを形成することが期待できる。ソフト事業については、他部署との連携により効果が向上する可能性がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	活用検討のため0予算事業。		
	後期に向けた課題	当面の活用方法としては、実態に合わせて倉庫利用を想定しているが、倉庫利用するためには消防設備の改修が必要となる。用途に合わせて、建築基準法や消防法による施設改修が伴うため、費用対効果を考慮して検討していく必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市が寄附を受けた歴史的建物を保存活用する事業のため、市が関与する必要がある。		
	後期に向けた課題	市が寄附を受けた歴史的建物を保存活用する事業のため、引き続き市が関与する必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	活用方法を検討する企画として、地元公民館と連携したイベントを開催することにより地域の方に関心を持ってもらう活動を実施した。		
	後期に向けた課題	今後の活用方法の検討においては、地元まちづくり委員会をはじめ有識者等との連携が必要となってくる。		
全体を通じて	4年間の振り返り	NPO法人が管理する蔵2棟について、屋根・外壁などの改修が終わり、テナント募集が開始された。		
	後期に向けた課題	飯田市が所有する蔵の隣にNPO法人が管理する蔵があり、群として一体的な活用についても検討していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------